

ののほな

野の花館だより
2008/秋号 / No.49

うっそうと茂る竹林の門をくぐると
ひろ - い土の庭・・・どっしりとした
柱、自然のままのカーブを生かして天
井を貫く大きな梁。その割れ目から松
やにをにじませて・・・「生命」の確か
さを訴えているようでもあり、その全
てが、長い間、いろりの煙にいぶされ
て黒光りしている・・・

みどりの木陰に張り出した大きな縁
側・・・



そんな場所で子ども達とあそんでみませんか？

これからの活動予定

(一部変更になる場合もあります)

9月14日(日)10時～13時

染色教室「蓬を染めてみよう！食べてみよう！」

・ 9月26日(金) 19時～20時

ミールミニコンサート「イタリア」

10月10日(金) 10時～13時

みそづくり1 (糀を仕込む)

・ 10月11(土)～13日(月)

松尾春海 作品展「花鳥風月を愛でる」-秋-

10月18日(土) 10時～15時

みそづくり2「大豆を煮てみそを仕込む」

11月3日(文化の日)13時～19時

いろりびらき、ミールミニコンサート

11月16日(日)アイルランド音楽の夕べ





野の花館“ふるさと”ふれあい子育て支援事業

第2回・郷土料理教室・・・冷や汁と竹の子ハンバーグを作りました。

講師：黒木淑子さん 参加者：子ども8人、大人11人(内高齢者5人)

暑い日に涼しさをイメージしながらつくる時の楽しさがある。麦飯にかけて食べる冷や汁、今、冷や汁の名は知っているけれど自分で作ったことのない人が不安と疑問を抱きながら取り掛かるには楽しくおもしろいと思う。親子でイリコの頭と腹を取り除き、イリコも1尾をしっかりと観察しながらカルシウムがあることを納得・・・。

イリコ・みそ・ゴマを良くすり合わせたものを焦げ目をつけ香りよく仕上げるために焼く。この作業も皆心配そうに真面目にとりくんでいる。出来上がったみそ玉は冷水(氷)に入れ、具(きょうり、青じそ、小ねぎ、豆腐、なす、みょうがなど)を混ぜ合わせる。すりこぎとすり鉢を使うことが楽しそうな子ども達の動作がとても嬉しく思った。

冷や汁はあっという間にすり鉢の底に少しになり、おいしくいただきました。



* 竹の子ハンバーグ

屋敷の周りの竹の子狩りから始めます。子ども達がせっせと担いできた竹の子の節目をすてて、ミキサーでみじん切りにし、ハンバーグの要領で肉、塩コショウ片栗粉を混ぜ合わせ、フライパンで焦げ目が色よくなったらポン酢でどうぞ。

材料:合いびき肉(鶏ミンチ):200g、竹の子(みじん切り):3カップ、塩コショウ:少々パン粉、牛乳

第3回・竹細工教室・・・一週前に竹を取りに行き、ソ

メン流しもしました。
講師：金子信吾さん



竹細工教室 「竹製水鉄砲」 金子 信吾

水鉄砲作り、前日までのわか雨もなく、気温も35近くまで上がったなか、親子にぎやかにできました。それぞれのやり方ながら、勢いよく水が出て何よりでした。足りなくなってもすぐに間に合う所に材料がある野の花館は遊びの幅がもっと広がりそうです。

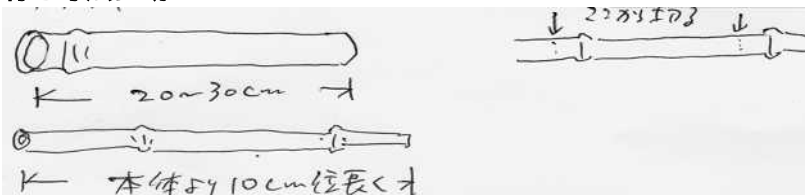


作り方

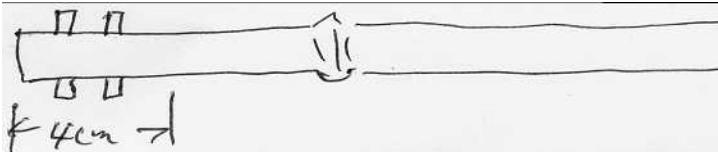
材料 ・真竹 内径3～5cm ・しの竹(女竹) 真竹の半分径のもの
・木綿の布 幅4cm位 ・木綿糸(タコ糸)

道具 ・ノコギリ・ハサミ・キリ

材料の竹を寸法に切る



押し棒(細い竹)の先端に2ヶ所穴を開け竹グシ(クギ)を通す(本体の内径より短く)



クギの上から幅4cm位の布を本体の竹の内径の太さに巻いて、糸で上からきつく巻く



本体のフシの真中にキリで穴をあける。

出来上がり

感* 2人の子供と参加しました。のこぎりで竹を切ったり、のみで穴を開けたりと、普段使った事のない道具を使って、真剣な顔で作っていました。だんだん形になると、うれしさがこみ上げニコニコ顔で最後まで頑張って作っていました。自分で作った水鉄砲は今も大事に使って遊んでいます。とても良い経験と思い出ができました。
坪井好江

* 夏休み初日、小3の娘と一緒に野の花館に出かけました。伝統文化をこよなく愛する我が娘は、水鉄砲作りとソ・メン流しを楽しみ、大満足。私の方は、生まれて初めてタマムシの飛翔を見、大興奮。夏休みが終わった今でも、「一番きれいな色ってなんだろう?一番ひかっているものってなんだろう?・・・(NHK北京オリンピックテマソング)」と、標本になったタマムシくんを眺めながら、口ずさんでいます。
吉田佳世

平和を考える集い08 朗読『月光の夏』作；毛利恒之

朗読：木内里美 岡田心平

音楽： (ミール)稲田由香里 稲田竜斗



リハーサル風景

この季節に野の花館が子ども達に伝えたいと思っている戦争体験…。今夏は木内さんをお願いした。

公演前日、“月光の夏”の脚本を手にした野の花館入りした木内さんは若者4人と話し合いながらどんどん舞台を仕上げていく…。

本番は観客を見事に魅了した。

“どうしてもピアノが弾きたい”それだけが若い二人の特攻隊員の望みだった…。初夏のある日、出撃を明日に控えた二人の特攻隊員がピアノが弾きたいとやってくる。共に音楽をこよなく愛する若者たち。一人はピアノソナタ「月光」を、もう一人は子供たちの歌う「海ゆかば」を演奏した。弾き終えた彼らは満足そうに戦場へ…。公開されるや大きな感動と涙を誘った話題作。一人はピアニストを目指し、一人は音楽教師を夢見ている、しかし彼らは戦争により特攻隊員として飛び立つ運命となる。当時を知る先生が「最後にピアノを思い切り弾きたい」と10Km以上離れた学校まで走ってきた彼らの思い出を生徒に話したことで、TVや新聞でも話題となり「その隊員はその後どうなったのか？」と探し始める事に。意外にもその後は、飛び立ったものの諸事情により特攻出来ず不時着したり帰還してきた隊員達のその後の真実について明かされる展開となり、あまり知られていない生き残った人達の苦悩が描かれている。

公演後の交流会では、夫々の戦争体験や父達が語った戦争体験が話され、平和を考える貴重な一夜となった。

出演者はすべて20代から40代の戦後世代、体験者は高齢者となる時代となつてこのように芸術作品として伝えていく大事さも話し合われた。皆さんの感想文も胸を打つものばかりだった。



月光の夏 感想

・友人のさそいできました。本当に忘れてはならない平和の今日、もったいないかぎりでした。もっと多くの人に聞いて欲しかったです。又又、お会いしたいです。

・こういう機会に戦争の話を聞かないと、日常に流されてしまう。自分の暮らしをふりかえります。

お話のピアノは、知覧の平和会館での巡回展示で見たことがあります。 65歳 M・M

・去年から特攻隊のことを勉強し始めて、毛利さんの本や、映画でも『月光の夏』をみました。朗読を聞いてみたいと、ずっと思っていたので、今回良いタイミングでめぐりあえてよかったです。なんとなくしか知らない戦争、特攻隊のこと。もっと若い人にも知ってほしいし、私も自分の子供に教えなければいけないことだと思っています。すてきな声とすてきな音楽、悲しいお話だけど、心にしみわたりました。ありがとうございました。 女性

(野の花館初めての方しかもチラシ、ポスタを見ての御参加…ありがとうございました！)

・木内さんの語り素晴らしかったです。風間さんの言葉を聞いて、父の事を思い出しながらきき入りました。多くは語らなかつた父ですか？このような日本にするために親友達は死んでいったのか、と晩年に私に言いました。ドキッと、反省し、さまざまの想いをしました。 59歳 S/S

・朗読劇「月光の夏」は、今自分が与えられている命、そして自由とは何かを考えさせられました。ありがとうございました。 31歳 S・W

・以前に映画で見た感動が今でも残っており、公演を知って友人をさそい参加しました。映画の中で語られなかつた事実とかにふれて、なみだがどっと出ました。ころぎのなき声のなかに悲惨な戦争の話をきき、この「平和」かならず守らねば!!と思いを強めました。いつもながら会場のセッティングと公演が余りにすてきで、いつも感動します。 58歳 Y・T

・「月光の夏」を聞きました。野の花館のたたずまいが話の内容をより盛り上げたと感じました。ピアノとヴァイオリンのBGMもぴったりで、話が見える様な気がしました。次は木内さんの演劇を見たいです。ぜひ企画して下さい。月光の夏をもっといろいろな所で演じてほしいとも思いました。ありがとうございました。 T・E

・子供にはむずかしいかな？と思いながらも、何か感じてもらえればと思い親子で足を運びました。目の前で聴く、ピアノとヴァイオリンの演奏と迫力のある朗読劇に少しおどろいていました。私は、朗読とピアノ、ヴァイオリンの演奏を聴きながら、その様子を頭の中で想像しながら聴き入っていました。ドラマの様な話が本当にあったなんて、とても複雑な思いでした。また、機会があれば親子で参加したいと思います。それから、久しぶりに木内さんのおばあちゃんシリーズ(濱崎さんとコンビで…)みてみたいです。 Y/T

・一番心にのこったのは、父さんが帰社で木内さんがかざま森介さんだった時です。「そんなことはおぼえとらん」たしかにせんそうのことは思い出したくありません。しかし沖縄せんを次の人たちに伝えなければいけないと思いました。とくにかざま森介さんやくだった木内さんの声がこわかったです。

伊藤夏勢

ミニコンサート

番外編 : 6月20日(金)18:30~

ピアノソナタ…モーツァルト

華麗なるポロネーズ…ヴィエニャフスキ

ポロネーズ…ショパン ほか



番外編をとりくんで…

稲田 竜斗

野の花館ミニコンサートもお陰様で恒例となり、8月で15回目となりました。そろそろクラシック音楽に耳も慣れ初めて来たかな、ということで、6月に番外編ということで、以前から考えていたちょっと本格的なコンサート仕様の2時間プログラムをやらせていただきました。

「今回は野の花館の力を借りずにやってみよう」ということで、自主公演の形を取って見たのですが、いざ準備を始めてみると、演奏時間の長さはもちろんのこと、チラシ・チケット作り、印刷や宣伝、その他結構何かと雑用も多く、思いのほかばたばたしてしまって、野の花館という協力者のありがたさを実感させられました。そんなこんなでどうにか公演にこぎつけたわけですが、予定よりもだいぶ多くの方が来てくださり、ちょっと突っ込んだ内容ながらも皆様楽しんでいただけたようでした。今回限りではなく、年に2回くらいのペースで番外編のほうも続けていこうと考えているので、これからもミニコンサート共々よろしくお願ひします。

ちなみに、今度の9月のミニコンサートは、声楽家の長濱登志子さんをお迎えして、イタリアの作曲家を紹介していきます。本当に素晴らしい歌手なので、この機会に是非お越しください。それでは、最後になりますが6月に来てくださった皆様、ミニコンサートにきてくださっている皆様、そして協力してくださっている野の花館にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

第14回(北欧の風) 7月25日(金)19:00~20:00

第15回(平和への祈り) 8月15日(終戦記念日)19:00~20:00

アヴェ・マリア…カッチニ、グノ、シュベルト 亡き王女のためのパヴァーヌ…ラヴェル
おもちゃの兵隊の行進曲…クライスラ - ほか

感想

- とってもよかった、良い物をきけて本当によかった、心があらわれたです!!
 - ミールさんの為の曲、“平和の鐘”、とても心にひびきました。
 - ミールのお二人の活躍を楽しみにしています。頑張ってください! 46歳 男性
 - 終戦記念日という事で、静かな雰囲気の中でとても素敵な音楽を聴かせていただいて、平和だな〜と感じました。子供に、もっともっとこんな音楽を聴かせたい、聴いてほしいと思いました。
 - 好きなことを仕事にしているお二人がとても輝いてみえました
- また、子供達に、戦争のことを伝えるということはとても大事なことで私も思います。子供の時に聞いた話は、大人になっても心に残ると思います。曲は、平和の鐘が私は好きでした。ピアノのやわらかいタッチが好きです。どうもありがとうございました。 27歳 女性

育児だより

* かんきつ姉弟 * 金丸 智子

春に誕生日をむかえ、増々パワーアップした二人。合唱の舞台に立ったりして、親としては嬉しい限り。言葉も巧みに使い分けられる様になってきた。特に朔、「自分で～」の時期は過ぎてしまったのか、今は「お母さんがして～」の日々。「牛乳ついで」に始まり「ぬげ～ん」「はけ～ん」と着替えを手伝わせる始末。「嫌だ」としらん顔をしていると、「あのね、お母さん、朔、話があるの」と様子を伺うし、全く上手くなったもんだ、とあきれのやら、笑えるやら、この夏休みは兄・姉にからかわれて、ずいぶんとたくましくなったこと、ナマイキな事を言うのも時間の問題だろう。

二人の言い間違い 千 大淀川 おおどよがわ

朔 裏返し うがえし

最近のヒットです！！

* 家族便り *

大山磨佐恵

第44回九州人形劇フェスティバルに参加してきました。
奈美が中学生の間、3年間おやすみしていましたが、今年は私のふるさと佐賀県が開催地だったこともあり、奈美と景子を置いて行ってきました。

早いもので38回の高鍋での開催から、すでに6年も経ちました。あの時私のお腹にいた珠代も来年は小学生。

フェスティバルに参加する皆さんは、我が家の子ども達の成長を、目安にしてくださっていて、

「 県の時奈美ちゃんはオムツしてたよ」

「 県の時景子ちゃんが抱っこされてた」

「 県の時博司君がベビーカーに乗っていた」

「 県でまさし君が床に座っていた」

と、次々に成長記録が飛び出します。1年に1回しか会わないのに、ホントに有り難いことです。

子ども達は、まるで親戚に会うみたいです。

珠代は3年間も休んだおかげで、フェスティバルの記憶がありません。それなのに、会う人みんなが「タマちゃん!」と声をかけ、そろいも揃って「大きくなったねえ～」としみじみ…それは、珠代にはとてもふしぎだったろうなあと思います。

事務局日誌より

- 5/28(木) 16:00～延岡シニア館見学・・・31名
6/8(日) 情報誌“ののはな”VOL1/野の花館だより48号発送。
6/7(土) 10:00から3:00 郷土料理教室・19名参加
6/13(金) 19:00～第3回運営委員会(6月定例会)
6/20(金) 18:30～ミールコンサート番外編
7/4(金) 19:00～第4回運営委員会(7月定例会)
7/13(日) 10:00～15:00 ソーメン流し準備・・・3名
7/19(土) 10:00～13:00 竹細工教室・ソーメン流し・・・21名参加
7/25(金) 19:00～20:00 ミールミニコンサート(北欧の風)・・・10名参加
8/9(土) 19:00～第5回運営委員会(8月定例会)
8/15(終戦記念日) 19:00～ミールミニコンサート(平和の祈り)・・・11名参加
8/24(日) 18:30～平和を考える集い108(月光の夏)木内里美 岡田心平 ミール・・・47名参加

これからの予定

- 9/14(日) 10:00～13:00 染色教室・ヨモギを材料に染めたり食べたり・・・
講師 岡田心平氏(綾の手紬染織工房)
9/26(金) 19:00～20:00 第16回ミールミニコンサート(イタリア)
10/10(金) 10:00～13:00, 10/18(土)10:00～15:00 みそづくり
10/11(土)～13(体育の日) 合せ貝 貝桶 板絵(松尾春海)作品展(花鳥風月を愛でる) - 秋
10/13(体育の日) 山川玉枝(飯塚在住) 琴演奏会
11/3(文化の日)13:00～19:00 いろいろ開き・ミールミニコンサート第18回
11/16(日) 15:00～17:00 アイルランド音楽の夕べ

野の花館へのご支援感謝します！

2008年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。

(08・5・30～08・8・31受け入れの方々)[順不同、敬称は省略させていただきました]

荒川恵子、稲田竜斗、榎木ミヨ子、海老原次子、岡山勇、(有)オールステージプロ、金海純子、黒木至美、黒沢康子、佐土原しづ子、曾我恭子、田中睦美、坪井好江、友成昌亮、永田多加子、畠中恵子、林真美、平野伊津子、別府智美、松下宏、藤あけみ。

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先； 特定非営利活動法人 野の花館

〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 2664

phone & fax ; 0983-23-0701

郷土料理と郷土文化について皆様の思いもお寄せください、お待ちしております！